



# ぴーちく ぱーちく



〒569-0082 大阪府高槻市明野町 10-15  
ぷりんせす明野 1F

第64号

2016. 08. 25 発行

TEL: 072-672-1294 FAX: 072-668-3210

MAIL: wffcj830@yahoo. co. jp

URL: http://ciltakatuki. web. fc2. com/

編集・発行 NPO法人自立支援センターたかつき

## p(´)q **障がい者であることを誇りに!** p(o´)q

かながわけん さがみはらし お しょう しゃ し せつ たいりょう  
神奈川県相模原市で起こった障がい者施設の大量  
さつじん ひさん じけん たん い き かん  
殺人は、悲惨な事件と単に言い切れないものを感じ  
ます。

はん にん しょう しゃ あんらくし く に こうぜん  
まず、犯人は「障がい者の安楽死」を国に公然と  
ぶんしょう うった しょう しゃ ひつよう い  
文章で訴えていることや、「障がい者は必要ない」と言  
い切っていることを考えると意図的に殺人を犯したとしか考えられない。

はんこう あと じしゅ せけん し ちゅう ちゅう わたし おち  
犯行のすぐ後に自首をしていることも世間に知らしめることを目的としているのではとおもう。  
(自首すれば死刑確定か無期懲役と知っていると思うし普通は逃亡すると私は思う。)

むご ひさん かわい じげん ちが おち こう なかま むねん  
ひどい、惨い、悲惨、可愛そう、とは次元が違うと思います。殺された仲間たちには無念だっ  
たらうと悔しいです。「殺されていい人間」なんかこの社会にいないのです。

しょう しゃ う わたし ほんとう よ おち い み  
障がい者として生まれて私は本当に良かったと思っています。このことの意味が、もっとも  
おお おや けんじょうしゃ ひび さいとうまさこ  
っと多くの親や健全者に響いてほしいのです。(斎藤雅子)



Let's hold each other's hand,



based on social inclusion!

じげん がいよう ようぎしゃ ざんぎやく  
事件の概要や容疑者の残虐さは  
い 言うまでもない。けど、僕は恐れる  
ことがある。今回の事件は政治的  
はいけい 背景があるのではないか、という気  
がしているのだ。そして、この事件  
がゆくゆく政治的に利用されるの  
ではないか、と思う。つまり、障が

しゃ あんぜん まち しょう しゃ かんり か お  
い者の安全を守るために障がい者を管理下に置く、というふうに利用されるとのことだ。

はん にん もうそうしょうがい うたが い なに  
さらに、犯人は妄想障害の疑いがあるとわれはじめた。これで何がおきるか。精神障が  
しゃ へんけん ねん おう むじけん しんじゅ あさはら のうは い そうち つ  
い者へのあらぬ偏見だ。1995年のオウム事件でも、信者が麻原の脳液を入れるための装置を付  
けした映像が報じられ、おかげでヘッドギアを付けた障がい者がオウムだとからかわれた。報道も  
ひつよう まちが へんけん ほうどう  
必要だが、間違った偏見をうむ報道はやめてほしい。

いすれにしても、この事件を僕は無視したくない。こんなふうに思うからこそ、憤りを感じ、  
やり切れない思いになる。障がい者であることを誇りに思う者として、この事件がどのように  
ほうどう う しゃかい みとど  
報道されるのか、そしてこれを受けて、社会がどうなるのかを見届けたい。そして、もし障が  
しゃ ぶり だん こたたか おち つばきもとひろき  
い者が不利になりそうなら、断固闘わなければならないと思う。(椿本博紀)

## おーるうらうんどこうしょう さんか オールラウンド交渉に参加しました～

8月5日、オールラウンド交渉に参加してきました。「教育」「交通・まちづくり」がテーマで、テーマ毎に当事者や親御さん達が訴えていきました。

スクールナースを配置してほしい、福祉医療費の自己負担額をこれ以上あげないほしい、障害があるからという理由だけで不動産に拒否られるのを見直してほしい等、色々な声が上がりました。その声に対し、大阪府の回答は「検討します」「言っておきます」。うーん… 毎年同じようなことを言っておられるように思うのは気のせいなのか？検討する気あるんかいなとツッコミたくなるのは私だけ？

ある方がヒートアップして、所々、交渉というより、怒鳴り始めて喧嘩腰みたいな感じになり、怖かったし、気分的にしんどくなりました。たしかに大阪府の回答を聞いてて腹は立ってくるけど、あれでは交渉ではなく喧嘩を売ってるんじゃないか、もう少し冷静になって言ったほうがいいんじゃないか と思いました。それほど白熱した交渉でした。(みか)

※スクールナースを配置してほしいというのは、特別支援学級に行っているお子さんで、たん吸引などの医療的ケアが必要なんだけど、スクールナースさんがいないため、親御さんが同行して介助せざる得ない状況で、身体的にも精神的にも休めないのでもしんどいみたいな話でした。

※福祉医療費の自己負担額をあげないほしいというのは、今病院で診察を受けると500円だけど、それが800円上がる、若しくは薬代として余分に500円かかることになる可能性があり、それでは困る、行きたくて病院に行ってるのではないし、生活保護を受けてない人からしたらキツイという話でした。

## ほーむらん らいぶ HRのライブがありました～

先月お伝えしたHR（ホームラン）のライブが、8月20日（土）JR高槻駅からほど近くの南風楽天というお店でひらかれました。

開場は午後5時だったのですが、4時半ごろにはお店の前行列ができていました。店内に収まりきらないほどの沢山のお客さんが集まり、中の熱気は、外の暑さを上回っていました。

HRが登場すると、会場の盛り上がりは最高潮に到達。HRの、ポップでときにメロディアスな曲と、メッセージ性の強い歌詞の絶妙なミックスで、会場全体は興奮のるつぼと化しました。あっという間の3時間で、ともかくにも最高のライブとなりました。

HRの今後の活動に、どうぞ期待！！



ねつきむんむんかいじょう  
熱気ムンムンの会場



当時僕は、パークレー大学の正門前で、持ち帰りの弁当を売ってた日本人夫婦の「武蔵」という屋台で、働いていた。青果市場で捨てられてる腐りかけのクズ野菜を持ってきてポイルして売っていて、おもしろも、ヘルシー日本食ブームに乗って、よく売っていた。そんな材料で作ってるのでお腹をこわしたという苦情の電話もよくかかってきていた。その職場の先輩Sさんは、奥さんと、まだ小さい娘さんと家族でアメリカに渡って来た。オーナーを通して、お金も払って、永住権を申請していたのだが、

スキーに行き怪我をしたことを理由に、クビになってしまった。その後、弁護士とオーナーがグルになって、永住権申請を引き延ばしていたことが分かった。不法移民は立場が弱いので、給料も安く叩けるし、永住権獲得まで、オーナーには、絶対、逆らえない。オーナーが、僕に聞いたことがある、「じゅんちゃん、アメリカで、日本人が、一番騙されるのは、なに人か分かるかい？」

「白人のアメリカ人ですかね」

「先に来た日本人だよ」

という会話をそのまま実践していたわけだ。あまりにSさんへの対応が酷いので、僕は、Sさんがやめさせられた翌日に「武蔵」を辞めた。二人も辞めてしまったので、残ったのは、夫婦と用心棒もかねて雇っていた海兵隊上りのロバーツの3人になってしまった。辞めたと電話でSさんに伝えて、二人で飲みに行き、大笑いをした。

その後、Sさんの知り合いのツテで、パークレーからフリーウェイで、一時間くらいのところにある日本食レストランで働くことになり、コンソルトという所に引っ越した。住まいは、オーナーの家に

居候だった。隣にハンバーガー屋さんがあって、そこで働いていたペドロというペルー人とゴミ捨て場で知り合い、オーナーに言われて僕の働く店にスカウトした。ペドロとは気が合って、二人でアパートをシェアして住むことになった。「荷で、アメリカに来たん？」と聞くと、「お父さんが、学校の先生をしてるんだけど、センテロ・ルミノソというゲリラ組織と政府軍が、内戦状態になって、危険だから、叔母さんのいるアメリカに一人で来た。僕の友達は、政府軍だったが、ある日のゲリラとの夜間の戦闘があって、翌朝そこを確認しに行ったら、ゲリラ兵になってたその友人の親友が死んでた。友達は、自分が撃った弾で死んだんじゃないかって、おいおい泣いてた」と言っていた。

そのレストランには、ラオスから難民で来ていた、バイさんというおかあさんが、皿洗いで働いていた。レストランから、下がって来る瓶ビールにまだ残りが入ってたら、「ジゅん、ドリンク！」と言って持

ってきてくれた。バイさんは、自分の住んでいる村がある白、カンボジアの軍事政権クメール・ルージュに占領されて、財産全てをつぎ込んで、移民を斡旋する業者の世話で家族みんなで難民としてアメリカにやって来た。「ジゅん、占領されて朝の朝礼で村人みんな並ばされて、突然、お前はこっちに来てと呼び出される。その人は、村には帰ってこない！殺される。お医者さんが呼ばれて、その奥さんは、お腹に赤ちゃんがいたのに、だんなが殺されて、一日中泣き叫んでいた。最後は、気が狂ってしまった。」と言っていた。

戦争や独裁が、ほんとは、どんなことなのか、二人は、平和ボケの僕に教えてくれた。



（文・写真：JUN/河上順一）

写真：パークレーのピブルズパークの地元の人々が、トイレに描いたベトナム戦争反対集会の絵。

# 自立支援センターたかつき～わたしたちが、やっていること～

- **重度訪問介護 従業者養成研修**：年に2回（9月と3月ごろ）研修を行っています。
  - **ピアカウンセリング**：当事者同士でお互いの気持ちを共感・共有します。
  - **自立生活プログラム(ILP)**：宿泊体験・外出体験・料理体験など自分の自立生活に必要な知識や経験を身につけていきます。
  - **自身体験室**：実際にヘルパーを使って生活をする体験ができます。誰でも使えるので気軽に声をかけてね。
  - **相談・情報提供**：障がい者の生活に必要な情報の提供を行い、相談にのります。
  - **障がい者自立フォーラム(地域活動支援センターⅢ型)**：日中に集い、障がいを持つ仲間や、友人作りの場として活用して下さい。私たちと一緒に自分探しをしませんか？
- その他**、お花見、ビアガーデン、クリスマス会などの交流の場をみんなで考えて計画しています。お気軽に遊びに来てください！



## 新しく購入した書籍

- マリー＝フランス イルゴイエヌ  
『モラル・ハラスメント一人を傷つけずにはいられない』紀伊國屋書店 1999
- ジョージ・サイモン 『他人を支配したがる人々』草思社文庫 2014
- 川島 聡他 『合理的配慮 対話を開く、対話が拓く』有斐閣 2016
- 河内美恵他 『保育士・教師のためのティーチャーズ・トレーニング  
発達障害のある子への効果的な対応を学ぶ』中央法規 2016

事務所においてあります。ご自由に借りに来て下さい～



ヘルパー対象学習会

発達障害って

なんだろう!?

今回の学習会のテーマは、「発達障害」です。

日時 2016年9月24日(土) 10:00～12:00

場所 当事業所事務所にて

申込は、自立支援センターたかつき(072-672-1294)まで  
(当日参加も可、2時間分の時給、交通費が支給されます。)

## 9月のフォーラムの予定

☆毎週木曜日はクラフトの日!

カワイイ手作り品作り、お気軽に体験しに来て下さい♪

☆セラピードッグ 今月はお休みです……

☆「ミカ@マーケット」は9月13日 コーヒー1杯 100円です～

☆映画は9月12日に観ます～

◎お問い合わせは自立フォーラムまで  
TEL: 072-672-8532

